

第1号議案 令和4年度(2022年度)事業報告、決算報告および監査報告の件

(1) 令和4年度(2022年度)事業報告 (2022年4月1日～2023年3月31日)

旧年来の度重なるコロナ禍に加え、ウクライナの悲惨な戦禍や政治と宗教の社会問題の惹起など、マイナスイメージに翻弄されてしまった一年でした。

しかしながら、多くの活動制約はあったものの、会員の皆様の多大なるご協力を得て、他国から来日し“八王子市民となられた方々”の不安や困難・生活を支援すべく各種相談業務を継続し、研修会・講演会や各委員会・理事会等の会議を開催し、通訳・翻訳に関わるボランティア活動を進めてきました。

<主催事業>

I. 事業名 生活・コミュニケーション事業

1. 語学ボランティア

各種団体・個人からの依頼による通訳・翻訳を行いました。

また、市から委託されている「サポートデスク」、「行政書士・弁護士による外国人個別相談」における通訳も行いました。

サポートデスク業務を理解するための“語学ボランティア研修”を受講し、東京都が実施する研修会や訓練に参加して、スキルアップを図りました。

○語学ボランティアの現況 (3月末現在)

登録者数 20言語 368名 言語別内訳:(複数登録)

英語 184、中国語 52、韓国・朝鮮語 17、スペイン語 26、ポルトガル語 7、タガログ語 18、ドイツ語 9、ロシア語 7、フランス語 11、ベトナム語 8、タイ語8、ミャンマー語1、ラオス語1、ネパール語 6、モンゴル語3、インドネシア語4、ビサヤ語2、ヒンディー語2、スウェーデン語1、ウルドゥー語1

☆医療通訳ボランティア 登録者数:13言語 87名

☆災害時通訳ボランティア 登録者数:10言語 43名

○通訳・翻訳件数 95件

(1)通訳:外国人市民の依頼を受けて、語学ボランティアが 学校・児童相談所・病院などに出向き、通訳した。 39件

(2)翻訳:外国人市民の依頼を受けて、語学ボランティアが依頼された文書を翻訳した。 56件

○「日本語を母語としない親子のための多言語高校進学ガイダンス」(10月2日(日))

8言語 10名 が通訳

○八王子市総合防災訓練(10月30日(日))に参加し、通訳の役割を務めた。

英語兼中国語・韓国語 各1名参加

○「サポートデスク」・「行政書士/弁護士による外国人個別相談」:70名が待機・通訳

○研修会

☆語学ボランティア研修会 を開催。

第1回語学ボランティア研修 2022年9月3日(土) 10:00~12:00 受講者 31名

第2回語学ボランティア研修 2023年2月19日(日) 14:00~16:00 受講者 31名

☆東京都つながり創生財団主催の「災害時多言語翻訳シミュレーション」に zoom 参加。

1日目 翻訳訓練 8月31日(水) 13:30~16:30

2日目 翻訳フィードバック研修 9月3日(土) 13:30~16:30

英語3名、中国語(繁体字)1名、韓国語1名、やさしい日本語2名の語学ボランティアが参加した。

2. 医療ボランティア (委員会)

「医療通訳ボランティア研修会」は、オンライン(ZOOM 利用)で行いました。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、ボランティアの意向を確かめて“病院”への同行通訳を紹介しました。

医療通訳:25件、翻訳:0件

○研修会

☆第1回研修会

日時:9月4日(日)14:00~16:00 オンライン(ZOOM 利用)

講師:四谷ゆいクリニック 医院長 阿部 裕氏

演題:「医療通訳の学習と実際」

(精神科で医療通訳に求められる最低必要な医学的基礎知識)

受講者:39名 (内 委員:4名)

☆第2回研修会

日時:2023年3月12日(日)14:00~16:00 オンライン(ZOOM 利用)

講師:高田馬場さくらクリニック 内科(兼務) 高柳 喜代子氏

演題:「外国人に多い結核のこと、ボランティア通訳の心得、専門通訳との線引きについて」

受講者:26名、(内 委員:4名)

○委員会 年6回 開催

(5月・7月・9月・11月・1月・3月)

3. 防災・災害対応 (委員会)

○ 東京都つながり創生財団主催の災害時多言語翻訳シミュレーション(8月31日、9月3日)

に英語3名、中国語(繁体語)1名、韓国語1名、やさしい日本語2名の語学ボランティアが参加した。

○ 八王子市総合防災訓練に参加

日時:10月30日(日) 8:30~11:00 参加者:6名

防災・災害対応委員会委員および語学ボランティアとともに外国人支援センターのコーナーに、参加した。

語学ボランティアは英語、中国語、韓国語で場内アナウンスを行った。

その後3か国14名の留学生の防災体験に同行し、外国人支援訓練をした。

○八王子モスク防災訓練

日時:12月2日(金)13:00~14:00 参加者15名(スタッフ22名)

八王子モスクの礼拝後、八王子消防署、八王子警察署、八王子市役所の協力を得て起震車体験、初期消火訓練、通報訓練を行った。

4. 学習支援(委員会)

市内2か所で外国につながる子どもたちの学習支援をしました。

○北野学習支援教室 北野市民集会所(毎週水曜日)

2022年4月~2023年3月(毎週水曜日) 15:00~17:00

○八王子駅前学習支援教室 八王子国際協会会議室で運営

2022年4月~2023年3月(毎週月曜日) 16:00~18:00

○学習支援者:35名 学習者:35名

5. 高校進学ガイダンス

○日本語を母語としない親子のための多言語高校進学ガイダンス

外国人等の家族33名が相談に来場しました。(本人14名、保護者等付き添い19名)

★ガイダンス協力者(語学ボランティア)研修 8月27日(土)

参加者:5名

資料:ガイドブック、入試説明書

☆高校進学ガイダンス 10月2日(日)

会場 学園都市センター

相談者:33名(本人14名、保護者付き添い19名)

資料:ガイドブック、入試説明書、出入国管理局配布資料

参加料:500円(資料代)

スタッフ:高校教諭、通訳(8言語)、ボランティアなど39名が協力

委員会 年11回開催(4月・5月・6月・7月・9月・10月・11月・12月・1月・2月・3月)

II. 事業名 広報事業

広報「地球市民プラザだより」を4回発行し、ホームページに掲載しました。

また、特別号(会員募集号・定期総会号)を発行しました。

八王子市議会議員の方々にも会報を発送して、協会の活動理解・周知を図りました。

また、Facebook やホームページ“What’s New”欄で、情報発信(講座の開催案内やイベントへの参加募集など)を行い、活動への参加を呼びかけました。

9月の理事会で動画(YouTube)作成チームの発足が承認され、その後各イベントを精力的に動画配信をしました。

また、会員会の参加者が多い外国人おもてなし語学ボランティア英語交流会の受講者など各講座の参加者にも会報を配布して、協会活動の周知と会員獲得に努めました。

多くの市民に八王子国際協会の活動を周知・理解してもらうために、積極的にミニコミ誌や地域メディアなどへ情報提供に努めました。

「世界の人とふれあいタイム」などの記事がミニコミ紙で掲載され知名度向上に貢献しました。

1. 会報の発行

会報 82号(6月末発行)～会報85号(3月末発行) 4回発行

会報を市民センター・市事務所・関連施設に配布・掲示、全市議会議員に会報を送付。

会報をホームページに転載。

更に特別号として5月末に「総会特別号」、2023年2月末に「新会員募集・会員継続案内特別号」を会員向けに発行した。

2. ホームページ・SNS・その他媒体による広報

○ホームページでの情報発信

新着情報(“What’s New”)、講座やイベントへの参加募集など、年間に59件発信

○Facebookでの情報発信

語学ボランティアや外国人市民を対象に当協会の催し物や活動を、年間57件発信

○動画(YouTube)での情報発信

協会が開催、出展したイベントを、半年間17件発信

3. その他媒体による広報

○会員へのメール発信

講座やイベントへの参加募集など、年間に27件発信

○市広報紙での広報活動

「広報はちおうじ」や外国人向け情報紙「Ginkgo」などに講座やイベント情報を提供

○ミニコミ紙へ活動情報を提供

①八王子国際協会の活動紹介

タウンページ、よみっこ、J:COM などに、イベント開催情報を提供した。

②「はちコミねっと」

「世界の人とふれあいタイム」・「外国人おもてなし語学ボランティア英語交流会」・「日本語ボランティア養成講座」・「語学ボランティア研修」等への参加者募集の記事を掲載した。

Ⅲ. 事業名 【新】ネットワーク作り

1. 外部団体との連携

○「多文化防災研修会」開催

日時:2023年2月26日(日) 14:00~16:00

会場:学園都市センター イベントホール

参加者:80名

内容:八王子に住む外国住民と交流しながら、防災について学んだ。

八王子の危ない場所、八王子で起きている災害、災害のときの外国人の状況、外国人にわかる「やさしい日本語」、これからの多文化共生社会のためにできることをワークショップ形式で行った。

八王子市防災課、NPO 法人防災・災害ボランティアかわせみ、kokohana やさしい日本語でつながる八王子の会、大学ボランティアの方々と協力して開催した。

○「コミュニケーションの壁について考えよう！」開催

日時:2023年3月18日(土) 13:30~16:00

会場:学園都市センター 第1セミナー室

参加者:18名 スタッフ2名

内容:言葉が通じない、聞き取れない、世代の違いなどの社会、異文化・多文化間、意志を伝え合うコミュニケーションにおいて「壁」を感じたことを話し合った。

「つながろう会 Multicultural Japan」と協力して開催した。

2. 外国人支援ネットワーク会議実施

外国人市民に日本語学習の支援活動等を行っている団体会員等とネットワーク会議(2回)を開催し、支援の輪を広げました。

○1回目

日時:2022年8月20日(土) 13:30~15:00

会場:学園都市センター 第3・4セミナー室

参加者:12名

内容:(1)須藤理事長、多文化共生推進課中野目課長の挨拶のあと、団体会員から最近の活動内容の報告があり情報を共有化した。

(2)その後、八王子市への要望事項について活発な発言があり、中野目課長から丁寧に回答をしていただいた。

○2回目

日時:2023年2月4日(土) 13:30~15:20

会場:学園都市センター 第3・4セミナー室

参加者:12名

内容:(1)須藤理事長、中野目課長の挨拶の後、国際理解を深めるために、鈴木副理事長

から「セネガル共和国の人々とその暮らし」について説明をした。

(2)その後、団体会員から活動状況の説明があり、情報を共有化した。

3. 外国人市民がまちづくりに参画できる仕組み作り

他のボランティア団体と共催して外国人市民が八王子市のまちづくり活動に、参画できるよう取り組みました。

第104回世界の人とふれあいタイム「ウクライナの話」を特別企画として、午前・午後に拡大して開催しました。

日時:2022年11月20日(日) 11:00~15:00

会場:学園都市センター第1セミナー室

講師:ソロツカさんご一家

参加者数:63名

内容:日本在住でウクライナ出身のソロツカさん一家によるウクライナの展示とプレゼンテーションを行った。会場には伝統工芸品の美しいエッグアートや細かい手作業の刺繍などが展示され、文化・歴史を通し、ウクライナで現在何が起きているのかをより正確に理解できる時間となった。更に募金活動も行い、NPO法人日本ウクライナ友好協会へ103,676円を送金した。

4. 明るいボランティアの活動の場づくり

「生涯学習フェスティバル in クリエイトホール」の「多文化共生の集い(展示と交流)」に参加しました。

日時:2022年10月22日(土) 10:00~16:00

会場:八王子市生涯学習センタークリエイティブホール5階 展示場

来場数:116人

内容:国際交流スペースでは、アゼルバイジャン、インド、中国(大学留学生)の外国人ボランティアの方々が民族衣装や伝統工芸品などご自分の国を紹介していただき、来場者と交流した。当協会の活動も紹介し、ウクライナ人道危機救援金募金をしてくださった方には、JICAからいただいた海外のお土産を差し上げた。

IV. 事業名 【新】施策提案・調査など

1. 「八王子マルシェ」に出店しました。

2020年度に立ち上げた「財務向上プロジェクト委員会」から生まれた企画を継続して行いました。

1) 目的

八王子市民が集う“八王子マルシェ”(八王子エルシー駐車場)で、八王子国際協会の“国際理解教育”活動を行い、民芸品、手芸品の販売を通して外国人市民の文化・風土を市民が理解出来るようにする。

合わせて、来場者に八王子国際協会の活動を紹介し会員の獲得や広報に努める。

2023年3月は“八王子駅南口マルシェ”に場所を変えて、出店した。

2) 具体的な活動

① 民芸品、手芸品の手配

当協会の趣旨に賛同をいただける方から、ボランティア活動の一環として出品する物品の提供・協力を受ける。提供頂いた物品の費用は仕入として補填する。

② 販売準備

袋詰め、ラベル張り、説明文作りなど準備作業および出店申し込み、テント張り、運送、展示、販売、などは委員会メンバーが行う。

③ 当日の作業

民芸品・手芸品の販売と共に、来店する八王子市民に八王子国際協会のパンフレット等を配布し当協会の活動内容を説明し賛同者に加入を呼びかける。

④ 委員会の編成

この活動に従事する会員からなる委員会を編成し、上記の計画・実行を行う
当日活動した会員には活動費を支給する

⑤ 会計報告

収入・支出は、通常の委員会活動に準じて報告する
利益が出た場合は協会の収益とし、当協会の活動に充てる。
収益金の一部を、「八王子市ウクライナ人道危機救援金」、「トルコ・シリア大地震支援金」へ寄付した。

3) 活動実績

① 4月24日(日)

② 9月25日(日)

③ 11月27日(日)

④ 3月19日(日) (“八王子駅南口マルシェ”に初出店)

(注) 7月は新型コロナウイルス感染症が拡大したために、中止した。

4) 委員会 年10回開催

(4月・6月・7月・9月・10月・11月・12月 1月・2月・3月)

2. NPO 法人八王子市民活動協議会、八王子市市民活動支援センターとの連携を図り、積極的に同主催のイベントに参加して多文化共生の啓もうを図りました。

はちおうじ NPO フェスティバル 2022、八王子いちよう祭り、地域デビューパーティに参加しました。

1) はちおうじ NPO フェスティバル 2022

日時: 2022年11月3日(木・祝) 11:00~16:30

場所: 東京たま未来メッセ

内容: 八王子で活動する市民団体を多くの市民に知ってもらい、市民と市民活動団体がもっと身近になることを目的としたイベントである。ブースでは、協会の活動を紹介した。

2) 八王子いちよう祭り

日時:2022年11月19日(土) 9:00~15:00

場所:わくわく広場(長房市民センター前河川敷)

内容:大学生3名のボランティアにもお手伝いいただき、当協会の活動内容やこれからのイベントの紹介を行った。快晴に恵まれて、チームワーク良く楽しく過ごすことが出来た。

3) 地域デビューパーティ802

日時:2023年3月5日(日) 11:45~16:00

場所:学園都市センター12階第5セミナー室

内容:「八王子の市民活動に参加して、自分も八王子も元気にしよう。」と考える市民を対象としたイベントである。当協会のPRと新規会員の募集をした。さっそくボランティア活動に興味がある方々がいらした。また「トルコ・シリア大地震」支援の募金箱を設置し、募金をしてくださった方には、JICAからいただいた海外のお土産を差し上げた。

V. 事業名 国際交流事業

1. 世界の人とふれあいタイム (委員会)

全5回、5か国(ネパール・アメリカ合衆国・ウクライナ・フランス共和国、ロシア連邦)を実施し、参加者とのQ&Aを通じて国際理解を深めました。

参加費 500円(ただし当協会会員は無料)を徴収していますが、非会員の出席者が約6割とリピーターも多くて大変好評な催しになっています。

○第102回「ネパールの話」4月24日(日) 参加費:500円(会員は無料)

話し手:ベルバセ ゴルカナ氏 会場:学園都市センター 参加者:28名

○第103回「アメリカ合衆国の話」7月10日(日) 参加費:500円(会員は無料)

話し手:デイビッド・チーク氏 会場:学園都市センター 参加者:38名

○第104回「ウクライナの話」11月20日(日) 特別企画 参加費:無料

話し手:ソロツカさんご一家 会場:学園都市センター 参加者:63名

○第105回「フランス共和国の話」2023年1月15日(日) 参加費:500円(会員は無料)

話し手:エリック・マーティンス氏 会場:学園都市センター 参加者:37名

○第106回「ロシア連邦の話」2023年3月19日(日) 参加費:500円(会員は無料)

話し手:ヴィタリー・スンツェフ氏 会場:学園都市センター 参加者:39名

○委員会 年5回開催(4月・7月・11月・1月・3月)のべ20名(委員のみ)

2. 外国人おもてなし語学ボランティア英語交流会 (委員会)

“困っている外国人を街で見かけたら気軽に声をかけ手助けできる人”を養成する目的で、語学ボランティア(英語)交流会を実施しました。

- 7月3日(日) 10:00~12:00 会場 八王子学園都市センター
「イラクの紹介」とグループ・ディスカッション(英会話)
話し手:コタイバ・サリー・サマライ氏 参加者:19名
- 11月13日(日) 10:00~12:00 会場 八王子学園都市センター
「オーストラリアの紹介」とグループ・ディスカッション(英会話)
話し手:タイ・チャップマン氏 参加者26名
- 2023年3月19日(日) 10:00~12:00 会場:八王子学園都市センター
外国人おもてなし英語学習会と名称を変更した。
「中国の紹介」とグループ・ワークショップ(英会話)
話し手:黄 紀文氏 参加者:21名
- 委員会 年3回開催 (7月・11月・3月 各1回)

VI. 事業名 国際理解事業 (委員会)

国際理解事業の目的を委員会で次のように再確認しました。

- ・学校での国際理解教育授業に協力し、子どもたちに多文化社会で暮らしていることを身近なものと感じてもらうため活動する。
- ・市民に対しても、多文化共生が進んでいる現代社会への理解を深めるため、ワークショップを開くなど、啓発する。

○世界のことばでおはなし会

由井市民センターみなみ野図書館に協力

日時: 2022年5月4日(水) 14:00~15:00

講師:力石 マルシア氏 (ブラジル出身、つながろう会代表)

内容:日本語、ポルトガル語、英語で絵本の読み聞かせ

参加者:27名(大人11名、子ども16名)

○ワークショップ研修講演会

(第1回)

日時: 2022年12月17日(土) 13:30~16:30

講師: 中澤 純一氏 東京未来大学

公益財団法人 浜松国際交流協会

テーマ:多文化なまち「はちおうじ」

～多様な人々とともにより良い社会を築いていくために～

参加者:17名 (内 委員7名)

(第2回)

日時: 2023年2月23日(木) 14:00~16:00

講師: 国際理解教育委員会委員

テーマ:わたしにできるSDGs

～世界の食を通して、自分たちの食を考える～

参加者:21名 (内 委員5名)

○ 学校授業協力

中山中学校 2月7日(火)

タイ、ペルー、中国からの外国人市民3名が講師となって協力

○委員会 年6回開催 (8/8・9/13・11/15・12/6・2/7・2/23)

<受託業務>

VII. 八王子における”多文化共生推進プラン”を実現するための支援業務

(八王子市市民活動推進部多文化共生推進課からの受託業務)

1. 「在住外国人サポートデスク」の運営

八王子市の在住外国人が1万4千人を超え外国人を取り巻く環境も複雑化・多様化しています。新型コロナウイルス感染防止対策で外国からの入国が規制されているため、新しく日本に来た人たちの相談は少なくなっています。

○生活相談の実施

相談日時:月～土曜日 午前10時～午後5時

相談件数:1,136件(4月～2023年3月)

(通訳・翻訳378、情報提供166、日本語学習124、ボランティア89、学習支援39、教育28、入管手続21、医療20、雇用・労働14、その他257)

相談者国別人数:計1,136名

(日本571、中国146、韓国29、フィリピン140、ペルー10、ブラジル28、アメリカ14、他34か国198)

・ウクライナ避難者支援

在日ウクライナ人方、ご友お人がウクライナに住んでいる方から日本に避難する際の手続き等の相談があった。国、東京都、日本財団からの生活費支援、都営住宅の入居支援、自立・安定した生活のための支援について説明をした。来日後には、八王子市経由で携帯電話の無料貸し出し支援を行った。

○行政書士による外国人個別相談の実施

相談日:毎月第1土曜日 午後2時～5時

相談件数:31件(4月～2023年3月)

相談内容:在留資格、妻子の呼寄せ、離婚など

○弁護士による外国人個別相談の実施

相談日:第3土曜日 午後2時～5時

相談件数:11件(6月・10月・12月・3月)

相談内容:離婚の手続き、永住権申請、財産生前贈与、ビザ申請、賃貸住宅の設備、生活保護申請 など

○語学ボランティアの通訳

「サポートデスク」

毎週月曜日には中国語語学ボランティアが同席

「行政書士/弁護士による外国人個別相談」

中国語・英語の通訳が同席、相談者の希望により他言語の通訳も同席

○在住外国人サポートデスク研修の実施

語学ボランティア及び相談員に対する受付・相談業務研修を実施しました。

☆第1回 語学ボランティア研修会

日時：9月3日(土)10:00~12:00

テーマ：「知っておきたい外国人の在留資格について」

講師：山本 武志氏（当協会、外国人個別相談会担当 行政書士）

会場：八王子市学園都市センター

参加者：31名(うち語学ボランティア17名) 事務局:3名

☆第2回語学ボランティア研修

日時：2023年2月19日(日)14:00~16:00

テーマ：1部:「DVの基本」、2部:「語学ボランティアの役割と心構え」

講師：八王子市市民活動推進部男女共同参画課職員、当協会事務局員 花輪豊子

参加者：31名(うち語学ボランティア12名) 事務局:3名

2.「日本語ボランティア養成講座」の実施（委員会）

“基礎講座”は“にほんご学習支援者を養成する講座”です。

日本語の学習支援ボランティア団体への参加を呼びかけた結果、修了者の半数以上が学習支援団体に入会しました。

“ステップアップ講座”は、実際に日本語学習支援を行っている人のスキルアップの講座です。

○日本語ボランティア基礎講座

(第1回)2022年7月3日・10日・17日(全日曜日) 全3回

会場：学園都市センター

対象者：日本語ボランティアを始めようとしている方

参加費：3000円 受講者：23名

講座内容

①「知らない言葉を学ぶ体験」①外国語で自己紹介 ②教育文法の内容

講師：金子 広幸氏（東京日本語ボランティアネットワーク講師）

②「身近にあるものを使って、何ができるだろう」

講師：藤橋 帥子氏（東京日本語ボランティアネットワーク講師）

③「日本語ボランティアの心構えーことばは生活するための道具ー」

講師：山形 美保子氏（東京日本語ボランティアネットワーク講師）

*各回の終わりに団体会員の活動紹介と入会の誘いを実施

アジア青年会、日中友好日本語学習会、八王子国際交流センター(HIEC)、
八王子国際友好クラブ(HIFC)、八王子にほんごの会、八王子国際協会“学習支援委員会”

(第2回)2022年11月13・20・27日(全日曜日) 全3回

会場:八王子市学園都市センター

対象者:日本語ボランティアを始めようとしている方

参加費:3000円 受講者:25名

講座内容

①「日本語ボランティアの心構えーことばは生活するための道具ー」

講師:林川 玲子氏(東京日本語ボランティアネットワーク講師)

②「知らない言葉を学ぶ体験」①外国語で自己紹介 ②教育文法が存在

講師:金子 広幸氏(東京日本語ボランティアネットワーク講師)

③「身近なものを使って、何ができるだろう」

講師:藤橋 帥子氏(東京日本語ボランティアネットワーク講師)

*各回の終わりに団体会員の活動紹介と入会の誘いを実施

アジア青年会、日中友好日本語学習会、八王子国際交流センター(HIEC)、

八王子国際友好クラブ(HIFC)、八王子にほんごの会、八王子国際協会“学習支援委員会”

○日本語ボランティアステップアップ講座

2022年8月21・28、9月4日(全日曜日) 全3回

会場:八王子市学園都市センター

対象者:日本語の学習支援スキルを向上させたい方

参加費:3000円 受講者:15名

講師:神奈川大学 国際日本学部 国際文化交流学科 奥村 匡子氏

講座内容

①「日本語について考えましょう」

②「異文化理解について考えましょう」

③「日本語学習支援について考えましょう」

○委員会 3回(7月・9月・11月)

3.「学習支援事業」の実施 (学習支援委員会)

学習支援教室の支援者のレベルアップを図るため研修会を行いました。

○学習支援者への研修会の実施

(第1回)

日時:2022年8月5日(金) 10:00~11:30

テーマ:八王子市立打越中学校日本語学級との「意見交換会」

参加者:11名

(第2回)

日時：2023年3月11日(土) 14:00~16:00

講師：磯村 元信氏(元東京都立八王子拓真高等学校校長)

テーマ:「学び直しと不登校の高校生のための取り組み」

参加者: 29名 スタッフ6名

4. 「国際交流コーナー」(地球市民プラザ会議室)の管理

新型コロナウイルス感染防止対策のため、“飛沫の拡散防止”の“アクリル板の対面フェンス”を作成し、実施しました。

また、毎回利用時に、“新型コロナウイルス感染症の収束に向けた「地球市民プラザ会議室」利用同意書”を、団体会員に提出をお願いして(2023年1月まで)感染防止と日本語学習の両立を図っています。

プラザ会議室では、年間:8団体で、延べ3,037人の外国人学習者に対して、延べ3,675人の日本人支援者が対応しています。

VIII.管理業務

1. 協会内の横断的活動など

(1) 委員長会議

日時: 8月20日(土) 15:30~17:00

目的: 委員会の委員長(6名)と多文化共生推進課長・理事長の情報交換会

内容: 理事長あいさつ

中野目多文化共生推進課長あいさつ

各委員会から最近の活動状況と情報共有事項について報告があった。

(2) 理事会

開催: 10回 (5月・6月・9月・10月・12月・2月・4月)

主な審議事項:

- ① 八王子国際協会の組織強化策について
- ② 「外国人おもてなし語学ボランティア英語交流会」の活動・名称変更について
- ③ 「動画(YouTube)作成チーム」の設置について
- ④ 令和5年度(2023年度)総会議案について
- ⑤ 総会議案書の審議

2. 東京都つながり創生財団主催の活動に参加

委員会、研修会、災害時多言語翻訳シミュレーションに参加した。

東京国際交流団体連絡会議、東京外国人支援ネットワーク、国際交流・協力 TOKYO 連絡会の会議に出席した。国際化市民フォーラム inTOKYO(2023年2月4日(土))では、B分科会

「外国ルーツの子どもたちが自分らしく輝くため」に参加した。

3. 東京都内の国際交流協会や地元商店街とのネットワークづくり

東京都内の国際交流協会と情報交換・交流活動を積極的に行った。

西放射線通り商店街主催の「ウクライナ人道支援チャリティイベント」に協賛・参加した。

(12月3日(土))ウクライナ直送の雑貨を販売し売上は募金とともに、人道支援資金としてウクライナの慈善団体へ寄付をした。会場はジャズバンドがクリスマスソングを演奏する中、一足早いクリスマス気分となった。

4. 会員数(2023年3月31日現在)

個人会員 268名、団体会員 9名、賛助会員(団体/9、個人2名)、会員総数288

5. 支援金の報告

イベント毎に支援金箱を設置して、ご協力をいただいている。

(1) ウクライナ支援金

イベント名	開催日	支援先	支援金額
多文化共生の集い in 生涯学習フェスティバル	10月22日(日)	八王子市ウクライナ人道危機救援金	10,992円
特別企画 第104回世界の人とふれあいタイム 「ウクライナの話」	11月20日(日)	NPO 法人日本ウクライナ友好協会	103,762円
八王子マルシェ出店	4/24,9/25,11/27 (日)	八王子市ウクライナ人道危機救援金	56,310円
合計			171,064円

西放射線通り商店街振興組合に協賛

ウクライナ人道支援 チャリティイベント	12月3日(日)	慈善団体オシャヤニ・スピトウロム	285,676円 114米\$
------------------------	----------	------------------	--------------------

(2) トルコ・シリア大地震支援金

イベント名	開催日	支援先	支援金額
地域デビューパーティ802	3月5日(日)	国連 UNHCR 協会	19,290円